

令和7年度 基本施策評価シート

基本施策	G4	芸術文化あふれる暮らしを創出します		
2025年度に めざす姿	対 象		意 図	
	市民が		芸術文化を楽しみ、心豊かに生活している。	
第五次総合計画[前期基本計画]基本施策掲載ページ			206ページ	
基本施策主管課名	文化振興課	関係課名	ながさきピース文化祭推進室、学校教育課、生涯学習企画課	

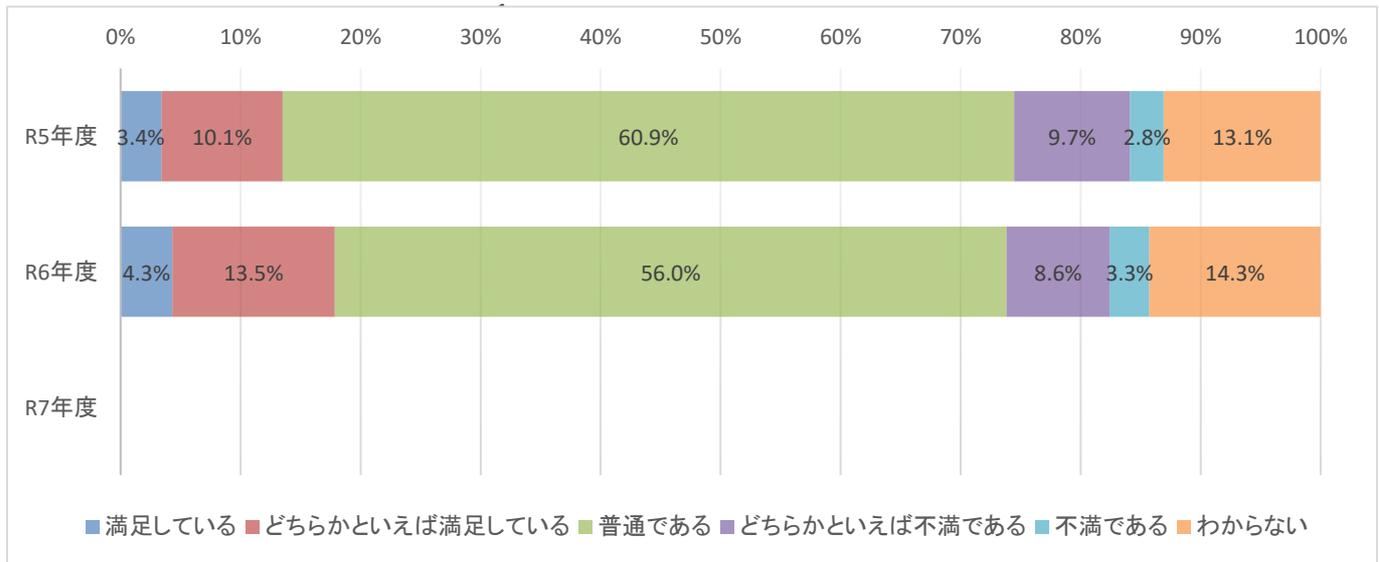
基本施策の総合評価

総括	<ul style="list-style-type: none"> ●基本施策の成果指標である「芸術文化を鑑賞する市民の割合」は48.1%(令和6年度実績)で、2025年度(令和7年度)に目指す姿である55.0%を下回っており、芸術文化に対する興味・関心がある市民が少ないことから、芸術文化に触れる機会や魅力の発信が十分でないことが要因であると考えている。 ●基本施策の成果指標である「芸術文化活動を行う市民の割合」は、19.3%(令和6年度実績)で、2025年度(令和7年度)に目指す姿である20.0%を下回っており、芸術文化活動を楽しむ市民が少ないことや、芸術文化に触れる機会や魅力の発信が十分でないこと、そして担い手の高齢化が要因であると考えられる。 <p>以上のことを踏まえ、今後の主な取組みは次のとおりとする。</p>
G4-1	<ul style="list-style-type: none"> ●鑑賞型や参加型の事業内容の見直しを図るとともに、芸術文化の魅力を多様な手法で発信し、興味関心を高められるような周知広報活動を行う。 ●芸術性や専門性の高い公演に対応でき、市民が利用しやすい新たな文化施設の整備に向けて引き続き取り組む。
G4-2	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもや若者が参加しやすい体験型事業の実施に加え、芸術文化振興奨励金や芸術文化活動助成金の制度に関して、紙媒体やSNSなど多様な手法で積極的な情報発信を行い、市民や文化団体の自主的な活動の活性化に向けた支援を行う。

二次評価(施策評価会議による評価)

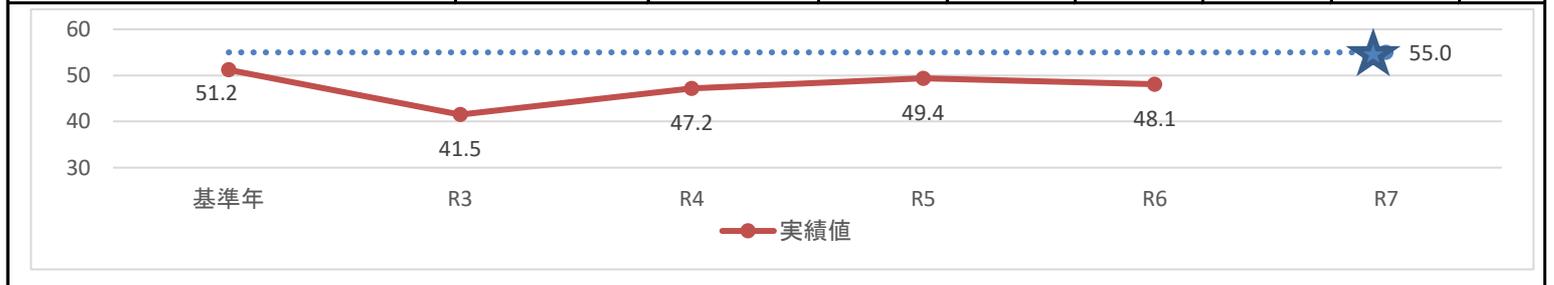
●	<p>【G4-1】</p> <p>②新たな文化施設の整備に向けた検討について、市民のニーズなどの記載を検討すること。</p>
●	<p>【G4-2】</p> <p>市民参加普及啓発型事業の展開については、周知にとどまっているが、より参加者の増加や自主的な取組みにつながるよう、内容等の見直しを検討すること。</p>

基本施策に対する市民満足度調査結果

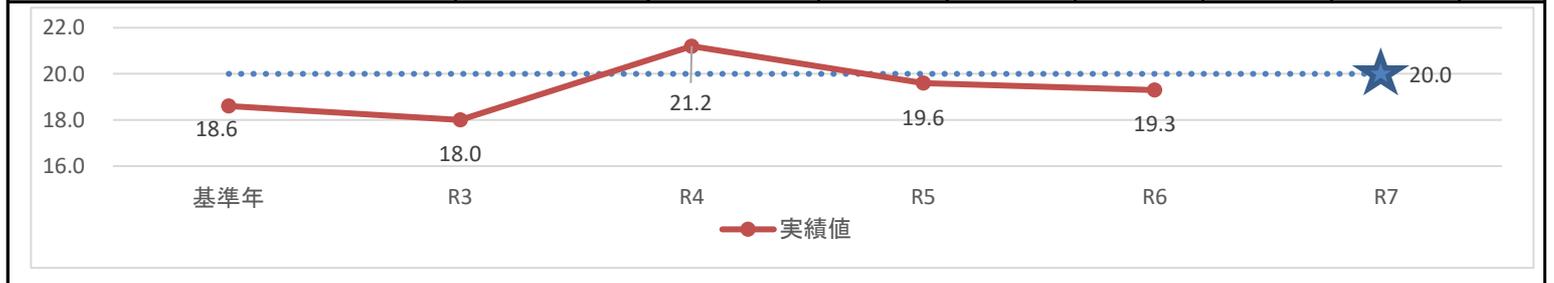


成果指標

指標名	基準値 (時期)	目標値	実績値					基準値 からの 傾向
			R3	R4	R5	R6	R7	
芸術文化を鑑賞する市民の割合	51.2% (R元年度)	55.0% (R7年度)	41.5	47.2	49.4	48.1	-	▲



指標名	基準値 (時期)	目標値	実績値					基準値 からの 傾向
			R3	R4	R5	R6	R7	
芸術文化活動を行う市民の割合	18.6% (R元年度)	20.0% (R7年度)	18.0	21.2	19.6	19.3	-	▲



年度別 主な取組内容

R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
・自主文化事業の充実による子どもから大人まで幅広い市民が身近に芸術文化に触れる機会の創出(実施回数61回、参加・入場者数2,017人)	・自主文化事業の充実による子どもから大人まで幅広い市民が身近に芸術文化に触れる機会の創出(実施回数65回、参加・入場者数4,197人)	・自主文化事業の充実による子どもから大人まで幅広い市民が身近に芸術文化に触れる機会の創出(実施回数82回、参加・入場者数4,216人)	

令和7年度 個別施策評価シート・まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

個別施策	G4-1	芸術文化に触れる機会を創出します	
2025年度にめざす姿	対 象		意 図
	市民が		様々な芸術文化に身近に触れている。
個別施策主管課名	文化振興課		

まち・ひと・しごと創生総合戦略施策

目標／具体的施策	
基2・(2)	子どもをみんなで育てる 子育てしやすいまちをつくる／子育ての環境を充実する

成果

① 市民が身近に芸術文化に触れる機会の創出

★子どもから大人まで幅広い世代の市民が、学校やふれあいセンター等の身近な場所で、芸術文化に触れ、親しんでもらうため、質の高い音楽や演劇に触れるアウトリーチ（音楽アウトリーチ16回、演劇アウトリーチ15回）や子どもまたは親子を対象とした鑑賞事業（親子向けコンサート2回、子ども向け演劇公演4回）を実施したほか、「まちなか」で市民が芸術文化を楽しむことができるNagasakiまちなか文化祭（2日間）を開催するなど、自主文化事業に前年度を上回る4,216人の参加があり、市民が様々な芸術文化に身近に触れる機会の創出につながった。

関連する総合戦略施策 基2・(2)

●ながさきピース文化祭2025（第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭）の開催に向けた気運醸成を図るため、様々な機会を捉えて周知を行うとともに、市内で活動するダンススクールや芸術文化に携わる団体や個人を集めたイベントを開催し約3,200人の参加があるなど、より多くの市民にながさきピース文化祭2025に関わってもらえる機会を創出した。

② 新たな文化施設の整備に向けた検討

●長崎市文化振興審議会を4月～5月に3回開催し、新たな文化施設の基本計画の検討を始めた令和2年度頃から、物価高騰、設備等における技術革新や他都市の文化施設における運用面での工夫等、様々な社会状況の変化があつていることを踏まえた諸室等の規模や機能の見直しについて検討を行ったことにより、新たな文化施設の設計に向けた規模や機能の整理が進んだ。

●新たな文化施設の整備場所である市庁舎本館跡地及びその周辺は、賑わいの誘導を図るまちづくりを進める上で極めて重要な場所であることから、地域活性化やこれら用地の活用に向けた整備事業に係る市の財政負担軽減につなげるため、PPP/PFI等の民間活力の導入について、直接の対話を行うことにより市場性の有無や実現可能性、民間事業者の参入意欲等を把握することを目的とし、サウンディング型市場調査を行った（8月：対話（17社）、12月：対話結果公表、1～2月：追加対話（10社））。これにより、新たな文化施設の整備・運営についてPPP/PFI手法による民間事業者の参入意欲が確認でき、整備から運営まで一括した事業の希望が多いこと、立地のポテンシャルは高く余剰地活用として立地可能性があること、面的な整備・運営に対する参入意欲もあること、PPP/PFI手法に有効性があることなどが確認できた。

問題点とその要因

① 市民が身近に芸術文化に触れる機会の創出

★様々な自主文化事業を行い、親子向けコンサートなどは参加者数の目標を上回った一方、Nagasakiまちなか文化祭については、芸術文化に興味関心がある層だけでなく幅広い層の市民に対する周知広報や事業内容の工夫などが十分でなかったため、参加者数が目標値に至っていない。

関連する総合戦略施策 基2・(2)

② 新たな文化施設の整備に向けた検討

●新たな文化施設の整備に向けた取組みを進めることができたが、PPP/PFI手法による民間活力の導入等の整備に向けた検討が続いており、施設が整備されるまでは市内の施設が不足している状況のため、長崎市公会堂の廃止後、長崎ブリックホールの稼働率が高く、市民が芸術文化の公演を鑑賞したり芸術文化活動の発表を行ったりするための予約が取りにくいなどの状況が続いており、芸術文化団体をはじめとする市民から芸術文化活動の発表・鑑賞の場としての新たな文化施設の早期整備が求められている。

今後の取組方針

① 市民が身近に芸術文化に触れる機会の創出

改善 ★Nagasakiまちなか文化祭など自主文化事業について、多くの市民が芸術文化を体感し、より効果が高められるよう、他分野との連携も見据えた事業内容の見直しを行い、関係団体とも連携し、紙媒体やSNSなど様々な広報媒体を使って積極的な周知広報を展開する。また、令和7年度に長崎で開催されるながさきピース文化祭2025を契機に、より一層芸術文化活動の発展や促進につなげる。

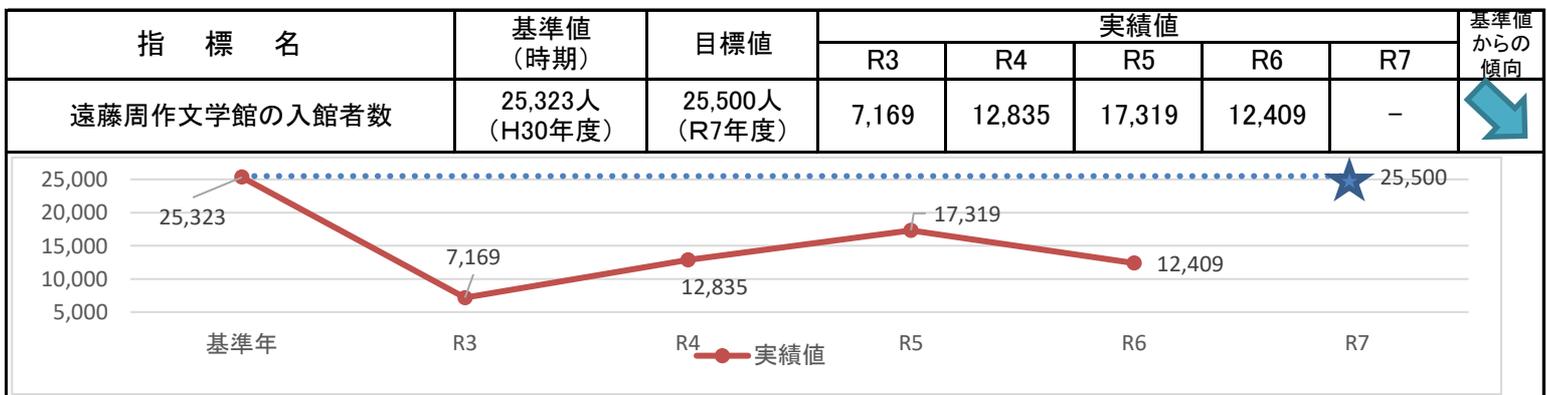
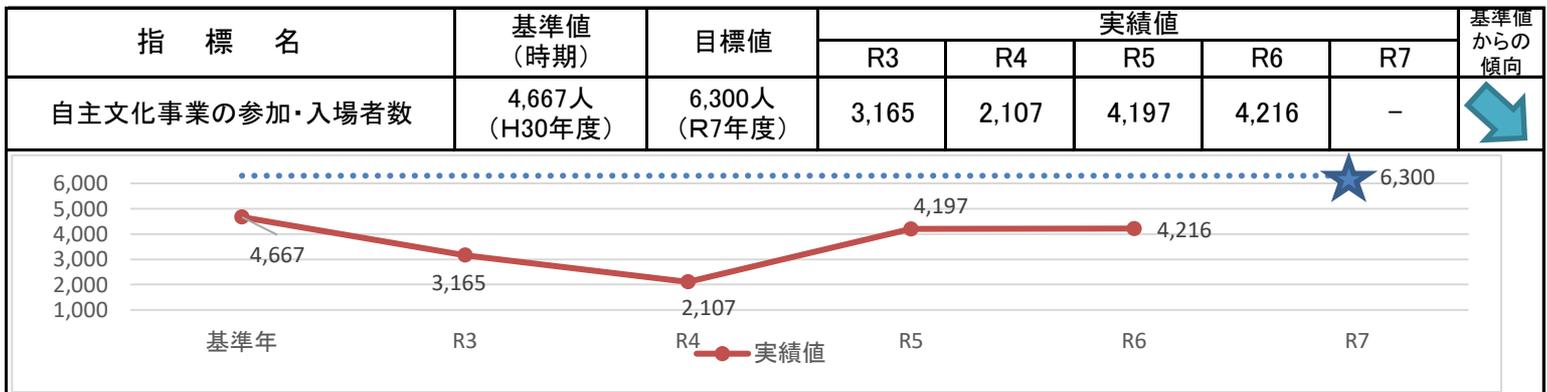
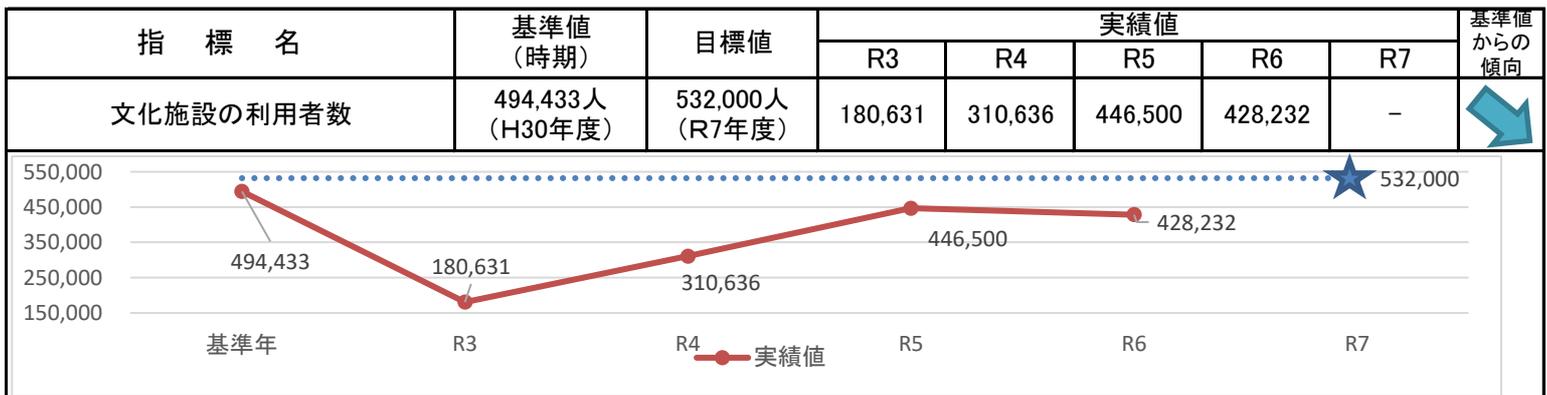
関連する総合戦略施策 基2・(2)

② 新たな文化施設の整備に向けた検討

改善 ●市議会や文化振興審議会から幅広く意見を聴取し、整備に向けた検討を進める。

改善 ●市庁舎本館跡地等の活用に関するサウンディング型市場調査の結果等を踏まえ、諸室等の規模や機能の見直し、PPP/PFI等の民間活力の導入による持続可能な整備及び運営のあり方の検討を行うとともに、サウンディング型市場調査の次のステップとして更なる具体化に向けたPPP/PFI手法の導入可能性調査に着手する準備を進める。

成果指標



施策を推進する主な事業

1	事業名 担当課	音楽の魅力発信事業費	文化振興課
	成果指標	参加・入場者数	 <p>【アウトリーチコンサート】</p>
	目標値	2,630人	
	実績値	2,119人	
	達成率	80.6%	
	成果指標・ 目標値の説明	市民が音楽に触れる機会を創出することで、芸術文化に対する興味関心を高めることを目標としているため、参加者数を成果指標とした。目標値は、過去の実績等より来場見込み数を想定し、令和6年度は2,630人とした。	
	事業目的	市民生活に音楽芸術を広く浸透させるとともに、次世代の文化活動を担う人材の育成を図る。	
	事業概要	中央および地元で活躍する演奏家を、学校・保育園・公民館等へ派遣して行うアウトリーチコンサートや、アウトリーチコンサートに出演した演奏家が一堂に会するコンサート等を開催することにより、市民が身近な場所で気軽に音楽を楽しめる機会を創出する。また、地元演奏家が活動できる場を設け、演奏家のスキルアップを図る。	
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトリーチコンサート 市内各所 計16回 参加者957人 ・ミニコンサート 1回 参加者242人 ・ラウンジコンサート 全9回 920人 		
	決算(見込)額	4,035,955	円

2	事業名 担当課	Nagasakiまちなか文化祭開催費	文化振興課
	成果指標	参加・入場者数	 <p>【パフォーマンスステージ】</p>
	目標値	1,400人	
	実績値	1,165人	
	達成率	83.2%	
	成果指標・ 目標値の説明	市民が芸術文化に触れる機会を創出することで、芸術文化に対する興味関心を高めることを目標としているため、入場者数を成果指標とした。目標値は過去の実績等により来場者見込み数を想定し、令和6年度は1,400人とした。	
	事業目的	芸術文化活動を行っている個人・団体の発表の場を創出するとともに、市民が身近に芸術文化を楽しむことができる機会を提供し、「まちなか」の賑わいにもつなげる。	
	事業概要	出演者を公募し、書類審査に加え楽曲・映像審査などによる選考後、音楽・パフォーマンス・演劇の各ジャンルの市民ステージ及び参加型の美術イベントを行う。	
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽ステージ 10組59人出演 ・パフォーマンスステージ 10組99人出演 ・まちなか劇場(2日間計) 36人出演 ・来場者(2日間計) 971人 		
	決算(見込)額	2,660,685	円

3	事業名 担当課	文化振興推進活動費(新文化施設整備)	文化振興課
	成果指標	芸術文化を鑑賞する市民の割合	
	目標値	55.0%	
	実績値	48.1%	
	達成率	87.5%	
	成果指標・ 目標値の説明	新たな文化施設の整備は市民が芸術文化に触れる機会の創出に繋がるため、芸術文化を鑑賞する市民の割合を成果指標とした。なお、施設の完成時期が未定であることから、目標値はR7年度の数値を記入しており、今後見直しを行う。	
	事業目的	「芸術文化と平和を世界と共有する」というめざす姿、芸術文化あふれる豊かな暮らしを実現する。	
	事業概要	芸術性や専門性の高い公演に対応でき、市民が利用しやすい新たな文化施設を整備する。	
	取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな文化施設の整備に向けた文化振興審議会の開催 ・市庁舎本館跡地等の活用に関するサウンディング型市場調査の実施 	
	決算(見込)額	614,980	円

令和7年度 個別施策評価シート・まち・ひと・しごと創生総合戦略評価シート

個別施策	G4-2	市民の自主的な芸術文化活動の活性化を図ります
2025年度にめざす姿	対象	意 図
	市民が	自主的な芸術文化活動を活発に行っている。
個別施策主管課名	文化振興課	

まち・ひと・しごと創生総合戦略施策

目標／具体的施策	
基1・(3)	経済を強くし、新しいひとの流れをつくる／学び、暮らし、楽しむ魅力を高める
基2・(2)	子どもをみんなで育てる 子育てしやすいまちをつくる／子育ての環境を充実する

成果

① 市民参加・普及啓発型事業の展開

★芸術文化活動を新たに始めたり再開する人を増やすため、小・中学生や若者向けの各種体験教室(こども伝統文化体験教室(12回)、こども演劇体験教室(全7日間)、ダンスワークショップ(3回)、若者向け芸術文化体験(2回))を実施したほか、令和7年度に開催する市民参加舞台公演に向けて、演劇の台本を制作する講座(全12回)や出演者オーディションを行うなど、実際に芸術文化を体験する機会を創出したことで、市民の芸術文化活動に対する興味・関心を高めた。

関連する総合戦略施策 基1・(3) 基2・(2)

② 市民の自主的な芸術文化活動を活性化する取組み

★市民文化団体と連携し、共催事業を6事業(マダム・バタフライフェスティバル(出演者数:134人)、市民美術展(出品数:39,696点)、市民いけばな展(出品者数:84人)、市民演劇祭(出演者数:77人)、市民音楽祭(出演者数:519人)、市民三曲演奏会(出演団体数:10団体))を実施し、延べ13,701人が鑑賞するなど、市民の芸術文化活動の発表の機会を設けるとともに、個人や団体が自主的に芸術文化活動を行う機会を創出した。

関連する総合戦略施策 基1・(3)

●芸術文化専用ホームページ「ながさき文化のひろば」において、各種助成金の募集情報や利用登録団体のイベント情報などを発信し、自主的な芸術文化活動の振興を図った。

問題点とその要因

① 市民参加・普及啓発型事業の展開

★こども演劇体験教室や若者向け芸術文化体験など、参加につながるような事業内容の工夫が十分でないことから、事業によっては前年度よりも参加者が減少している。

関連する総合戦略施策 基1・(3) 基2・(2)

② 市民の自主的な芸術文化活動を活性化する取組み

★市民文化団体との共催事業について、市民への周知広報が十分でないことから、事業によっては入場者数が減少傾向となっている。また、参加団体・出演者の高齢化や固定化している事業があるが、新たな参加者確保に向けた取り組みが進んでおらず、参加者数が減少している。

関連する総合戦略施策 基1・(3)

●ホームページについて、イベント情報など、様々な情報を掲載し充実を図っているが、ホームページ自体の認知度の低さや市民交流掲示板機能が文化団体等の情報発信に十分に活用されていないなどにより、閲覧数の伸び悩みがみられる。

今後の取組方針

① 市民参加・普及啓発型事業の展開

改善 ★子どもや若い世代が興味関心を持つような周知広報はもとより、より効果的な事業内容に積極的な見直しを図る。

関連する総合戦略施策 基1・(3) 基2・(2)

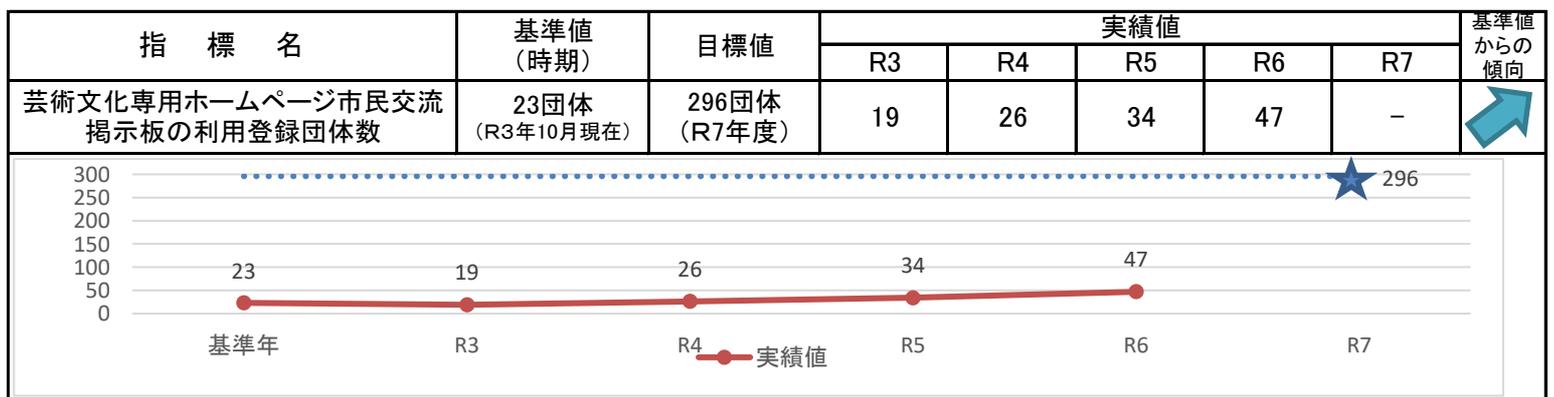
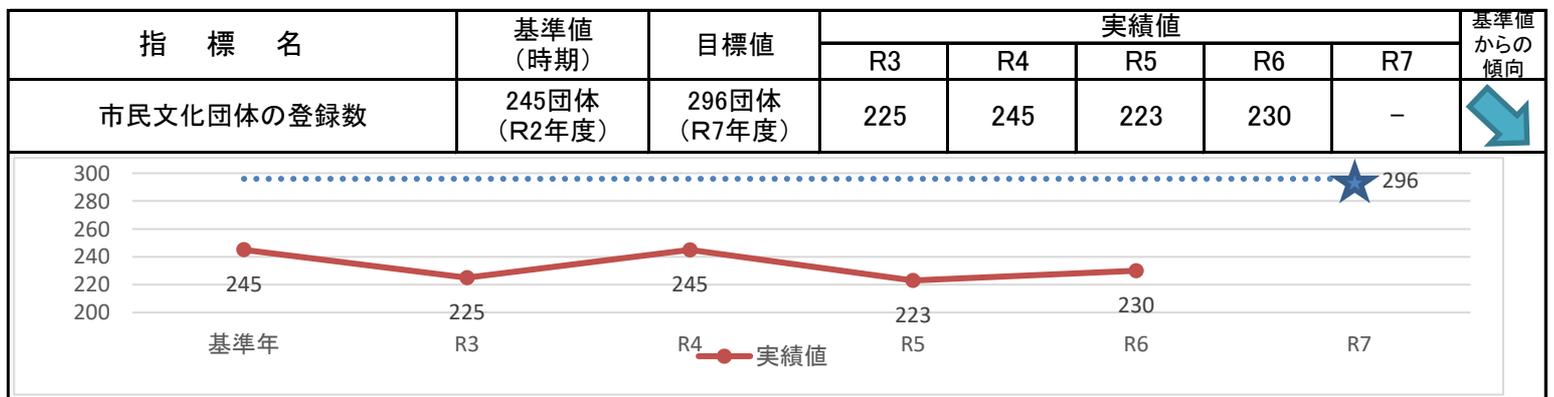
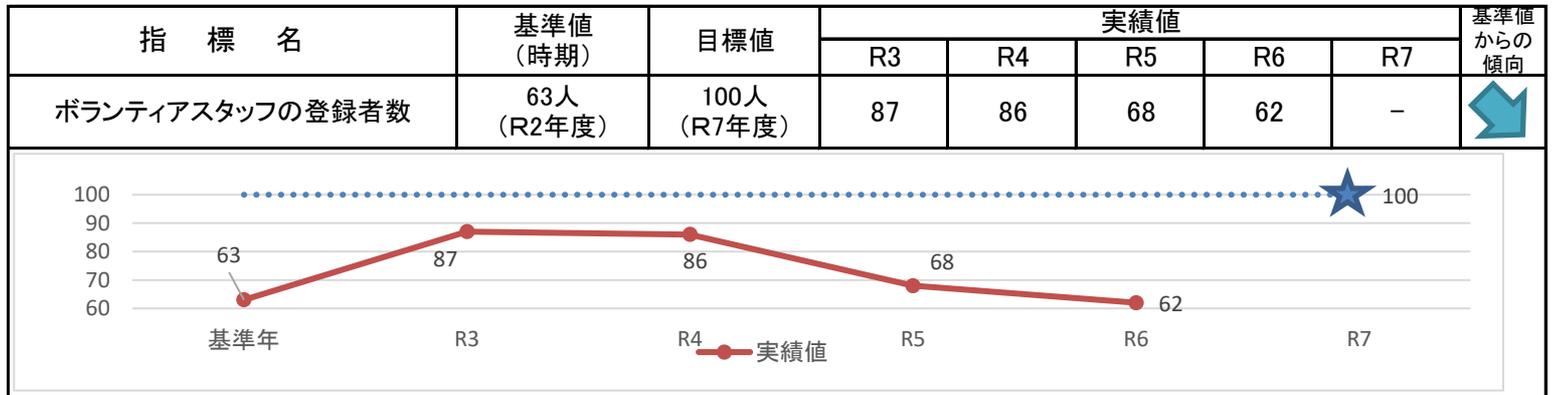
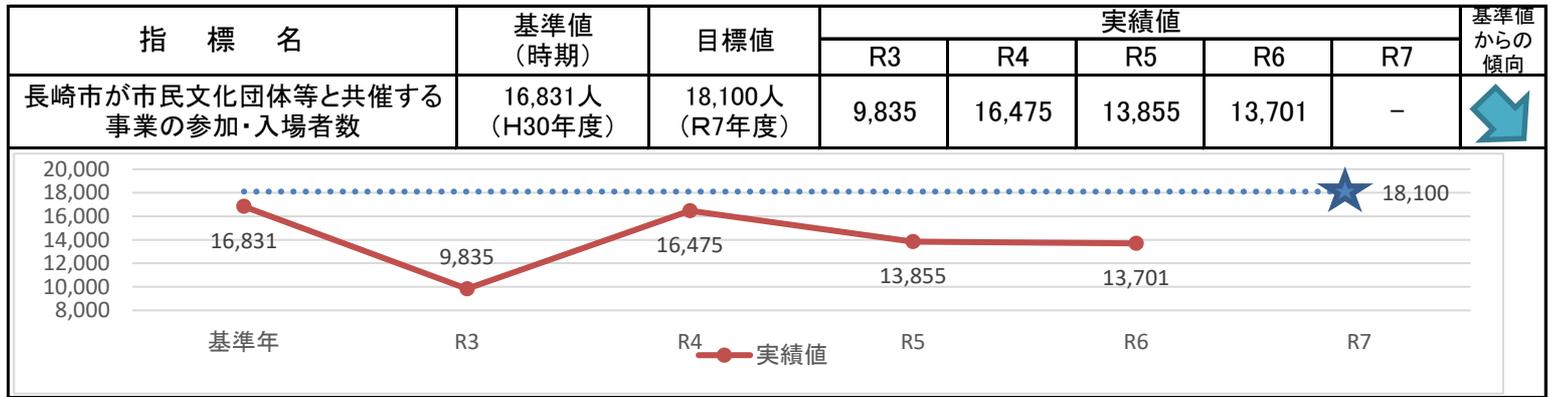
② 市民の自主的な芸術文化活動を活性化する取組み

改善 ★共催事業について、若い世代含め、新たな参加団体・出演者確保に向けた取り組みを進めるとともに、広く市民に情報が行き届くよう、紙媒体やSNSなど多様な手法で情報発信を行う。

関連する総合戦略施策 基1・(3)

改善 ●ホームページについて、レイアウトやコンテンツの工夫等を行い、魅力的で訴求力が高い情報発信の充実を図るとともに、ホームページの認知度向上のための方法について、関係機関等と意見交換を行いながら検討し、文化団体等にも活用を促していく。

成果指標



施策を推進する主な事業

1	事業名 担当課	市民参加型舞台公演等開催費	文化振興課	
	成果指標	催事の参加者数	 <p>【戯曲講座(リーディング公演)】</p>	
	目標値	575人		
	実績値	350人		
	達成率	60.9%		
	成果指標・ 目標値の説明	市民と一緒に舞台作品の制作を行ったり、演劇ワークショップを開催したりすることで、気軽に舞台芸術に触れる機会を創出することにつながることから、参加者数を成果指標とした。目標値は、定員等により参加者数を想定し、令和6年度は575人とした。		
	事業目的	市民に演劇の台本制作や、舞台公演の鑑賞、舞台公演に参加する機会を提供し、市民の舞台芸術に対する関心を高めるとともに、舞台芸術に係る人材育成と活動の活性化を図る。		
	事業概要	身近に演劇に触れる機会の創出・普及啓発として、講師が直接学校や地域に出向く演劇アウトリーチを実施する。 また、市民を対象とした戯曲(演劇の台本)講座や令和7年度に実施する市民参加舞台の出演者オーディションを開催し、市民の力で演劇の舞台を制作する機会を提供する。		
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・演劇アウトリーチ 開催回数15回、参加者数316人 ・戯曲講座 開催回数12回、参加者数16人 ・市民参加舞台オーディション 開催回数2日、18人 			
	決算(見込)額		1,967,755	円

2	事業名 担当課	子ども芸術文化体験事業費	文化振興課	
	成果指標	催事の参加者数	 <p>【こども伝統文化体験教室】</p>	
	目標値	770人		
	実績値	517人		
	達成率	67.1%		
	成果指標・ 目標値の説明	市民が芸術文化に触れる機会を創出することで、芸術文化に対する興味関心を高めることを目標としているため、入場者数を成果指標とした。目標値は定員等により来場者見込み数を想定し、令和6年度は770人とした。		
	事業目的	子どもの頃から芸術文化に親しみ、触れる機会を創出し、芸術文化に対する興味・関心を高める。		
	事業概要	子どもや親子を対象とした鑑賞事業(親子向けコンサート、子ども向け演劇公演)やワークショップ(こども伝統文化体験、こども演劇体験教室、ダンスワークショップ)を実施することで、子どもの頃から芸術文化に親しみ、触れる機会を創出する。		
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・親子向けコンサート 計2回 参加者86人 ・子ども向け演劇公演 計4回 参加者224人 ・こども伝統文化体験教室 計12回 参加者122人 ・こども演劇体験教室 参加者12人 ・ダンスワークショップ 計4回 参加者73人 			
	決算(見込)額		8,709,798	円

3	事業名 担当課	マダムバタフライフェスティバル開催費負担金		文化振興課
	成果指標	催事の参加者数		 <p>【オペラコンサート】</p>
	目標値	2,550人		
	実績値	2,127人		
	達成率	83.4%		
	成果指標・ 目標値の説明	市民が気軽に音楽に親しんだり、質の高い音楽に触れる機会を創出することで、芸術文化活動に対する興味・関心を高めることにつながることから、参加者数を成果指標とした。目標値は過去の実績等から来場者見込み数を想定し、令和6年度は2,550人とした。		
	事業目的	子どもから大人まで音楽や楽器に親しめるイベントを実施し、市民が気軽に音楽に親しんだり、質の高い音楽に触れる機会を創出する。		
	事業概要	長崎が物語の舞台となっている世界的に有名なオペラ「蝶々夫人(マダム・バタフライ)」をテーマとした音楽フェスティバルとして、オペラ・クラシックコンサートやミニコンサート、楽器の体験教室等を実施する。さらには保育園や放課後児童クラブなどを対象としたアウトリーチを実施する。		
	取組実績	たのシックフェスティバル(2日間) 入場者数1,222人 プッチーニおじさんの音楽物語 入場者数390人 アウトリーチコンサート(3回) 参加者数515人		
	決算(見込)額		4,466,928	円